TICKET チケット

トークショー入場券 全席指定

一般:2.500円/学生:1.500円



3月8日(月)より、チケットぴあにて発売!

【Pコード:551-431】

- チケットは前日までの販売です。当日券の販売はありません。
- ぴあ店舗のみ、座席の選択が可能です。
- チケットの払い戻し、交換、再発行はいたしません。
- 会場ではチケットの発券が出来ません。必ず発券して会場までお越しください。
- 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員数を50%に制限します。 チケットを複数枚ご購入の場合は、隣り合わせの席にならない可能性がございます。

VENUE 会場



丸ビルホール

東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7F (JR東京駅丸の内南口より徒歩1分/丸ノ内線東京駅 および千代田線二重橋駅より直結)

チケットの



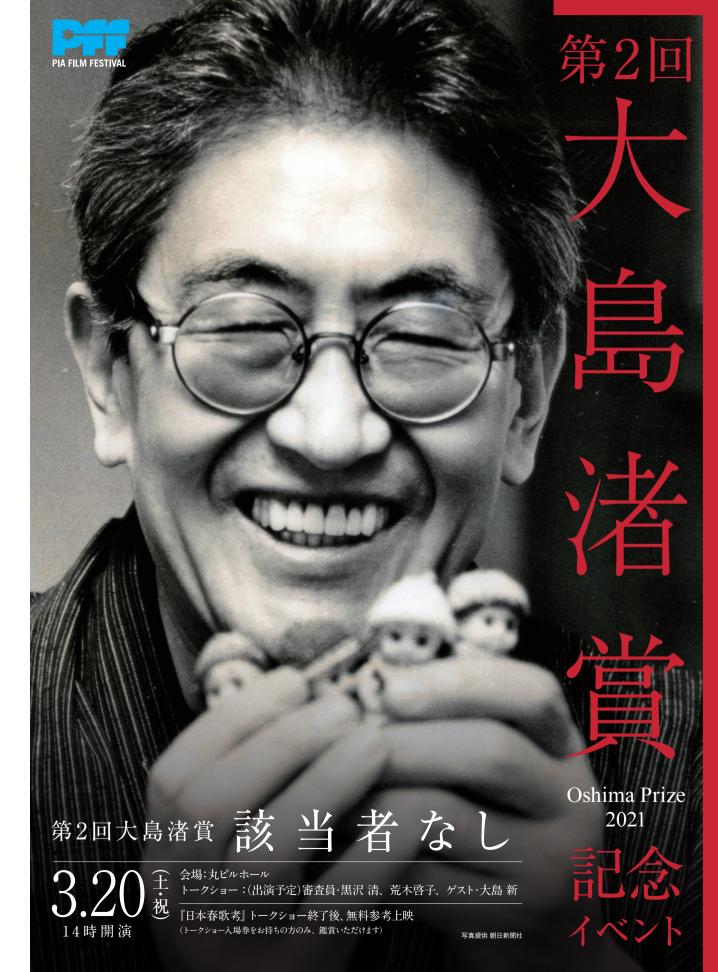


大島渚賞

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

- ※ ご来場の際は、マスクのご着用をお願い致します。
- ※ 検温、消毒へのご協力をお願い致します。37.5度以上の発熱がある方はご入場をお断りさせていただきます。
- ※ 37.5度以上の発熱がある方、咳や咽頭痛など体調の優れない方、14日以内に感染者との濃厚接触が疑われる方は、ご来場をお控えくださいますようお願い致します。





伝えたいことがある—— 映画の新しい魅力を発見する1日

授賞式はありませんが、記念イベントを開催します。

審査員長の坂本龍一氏、審査員の黒沢清監督、荒木啓子PFFディレクターの3名による討議の結果、 「該当者なし」という結論に至った、「第2回大島渚賞」。

当初予定の授賞式にかえて、何が飛び出すかわからない門外不出の審査員トークと、

坂本&黒沢両氏が絶賛する大島渚監督の仰天青春ミュージカル映画を上映する、スペシャルな記念イベントを開催します。

第2回大島渚賞 記念イベント

3月20日(土·祝) 開場13:30 開演14:00 17:00終演予定

※本企画は毎年、大島渚監督の誕生月である3月に開催します。

一体どんな審査会議だった? 大島渚監督のすごさとは?

トークショー

《出演予定》 審査員・黒沢 清、荒木啓子、ゲスト・大島 新



黒沢 清 (映画監督)



荒木啓子 (PFFディレクター)



大島 新

黒沢清監督と荒木啓子PFFディレクターによる審査員トークでは、今回の結論に至った審査会議でのエピソードや、そのユニークな審査についてのトークを展開。

さらに、大島渚監督のご子息で、昨年公開の監督作『なぜ君は総理大臣になれないのか』や、プロデュース作『ぼけますから、よろしくお願いします。』など話題作を手掛ける、大島新監督にも加わっていただき、大島渚監督の唯一無二の魅力を語り尽くします。

坂本&黒沢 両審査員がベストワンと声を揃える傑作!

『日本春歌考』

トークショー終了後、 無料参考上映

1967年/103分 監督·脚本:大島 渚 出演: 荒木一郎、田島和子、岩淵孝次、串田和美、宮本信子、吉田日出子、小山明子、伊丹一三



受験のために上京した男子高校生たちは、性的なことを露骨に表現する猥褻な歌=「春歌」に出会う。混沌とした時代を映すような、軍歌、革命歌、反戦フォークが歌われる一夜に春歌で対抗する彼らの、抑圧されたエネルギーが暴走する!

※トークショー入場券をお持ちの方のみ、鑑賞いただけます 作品提供:松竹

ROFILE .



督

映画監督 大島 渚

1932年、京都府生まれ。54年京都大学法学 部を卒業し、松竹に助監督として入社。59年 「愛と希望の街」で監督デビュー。「青春残酷 物語』『日本の夜と霧』などで新鮮な技法を見 せ、一躍脚光を浴びる。61年松竹を退社し、 独立プロ「創造社」を設立。以後、『日本春歌 考』「絞死刑」「少年」「儀式」などを製作・監督 した。75年に「大島渚プロダクション」を設立。 で高い評価を得て、78年「愛の亡霊」で第31 回カンヌ映画祭の最優秀監督賞を受賞。そ の後『戦場のメリークリスマス』 「マックス、モ ン・アムール」などの海外合作映画を発表し話 題を呼ぶ。99年『御法度』を制作。2001年フ ランス芸術文化勲章授与。13年に80歳で永 眠。79年~88年、92年と「ぴあフィルムフェス ティバル の審査員を務めた。

//// TOPICS /////

「第1回大島渚賞」は、小田香監督が受賞。

「大島渚賞」は、一般社団法人 PFFが2019年度に創設した新たな映画賞です。日本で活躍する劇場公開作3本程度までの監督を対象に、映画の未来を拓き、世界へ羽ばたこうとする、若くて新しい才能に対して贈られます。第1回の受賞者は、独自の映画言語で強靭な作品を生み出している、小田香監督。坂本氏、黒沢氏からも激賞された『セノーテ』は、昨年9月より全国約30館で順次公開、大きな話題を呼び、今後の更なる活躍が期待されています。



この春、大島渚作品が続々とスクリーンに蘇る!

第2回大島渚賞を皮切りに、この春は大島渚祭りです!『戦場のメリークリスマス 4K修復版』『愛のコリーダ 修復版』の2作品が4月に最後の大規模ロードショーへ。また、大島渚監督の記念碑となる書籍「大島渚全映画秘蔵資料集成」(編著:樋口尚文)の刊行と、それにあわせ、シネマヴェーラ渋谷で、レアな作品の上映も含めた大島渚特集「オーシマ、モン・アムール」(4/3~23)の開催が続く、豪華な春を是非ご堪能ください。





NATION AND THE PROPERTY OF THE

